



県内にお住まいの65歳以上の皆さんに、交通安全意識を高めていただくとともに、耳慣れた秋田弁を活用して広く県民に交通事故防止を呼びかけるため、「交通安全作品コンクール」として、あきた弁を使った川柳を募集しました。応募作品53句(応募者53人)の中から、入選作品を紹介します。

あきた弁の“味ッコ”をじっくり堪能してたんせ！



最優秀賞

してえこ待で左右確認うるだぐな
(少し待て 左右確認 慌てるな)

優秀賞

おべでるが 守らねチャリに 青切符
(心にとどめていきますか。(法規を) 守らない自転車には 青切符が切られることを)

佳作

わらしっこ べろっと出ると 氣いつけれ
(子どもが不意に飛び出してくるから氣をつけて)

うんてんは えふりこかねで 安全に
(長い時間運転していても安全に運転しましょう)

うるだぐな 急がば回れ みな笑顔
(あわてないで、余裕をもって行動しましょう。それが周りの人を幸せにします)

うるだぐな じっちゃまでまで くるまきた
(急ぐなよ じいさん待てよ 車来たよ)

青切符チャリにもあるべおべでらが
(自転車も違反をすれば青切符だと知っていましたか)

仙北市

佐藤 心一さん

秋田市

藤原 正広さん

大館市

柁木 達雄さん

鹿角市

石川 セイ子さん

能代市

相沢 百合子さん

藤里町

佐々木 廣治さん

秋田市

鈴木 明夫さん

総 評

藤子 あられ

その土地により、言葉のニュアンスが微妙に違っていたりで、勉強になりました。秋田弁での「川柳」ですので、五、七、五と流れの良い句、なるほどと思える分かりやすさ、などに心掛けて選びました。押し付けや、言いたい事は分かるが、字足らず、字余り（多少なら良い）など、気になる句も見受けられた。今回、入選に漏れた方もこれに懲りず次回もまた挑戦して欲しい。県民が交通規則を守り、互いを敬い安全で住みよい秋田にしたいものです。

各句の講評

最優秀賞

「してえこ待で 左右確認 うるだぐな」

とかくこの世は忙しない。ほんの少し待つ心があれば、事故を避けることや、自分の身も守ることができると思う。

優秀賞

「おべでるが 守らねチャリに 青切符」

「青切符チャリにもあるべおべでらが」の句と内容が同じで迷ったが、句の座りが良い下五に青切符を持って来たほうに軍配があがった。

佳作

「わらしっこ べろっと出ると 氣いつけれ」

信号機のない横断歩道や小路など、気を付けたいもの。心の余裕が必要ですね。

「うんてんは えふりこかねで 安全に」

良いカッコを付けても、事故を起こしてしまえば元も子もない。

「うるだぐな 急がば回れ みな笑顔」

作者が100歳にまず驚いた。家族のやさしさと笑顔の絶えない作者が浮かんでくる句。

「うるだぐな じつちやまでまで くるまきた」

句の流れが実に良い。全部ひらがなで子供達にもわかりやすい。

「青切符チャリにもあるべおべでらが」

「青切符」は正に旬の言葉。二つが土俵に上がった結果である。私はどちらも没にしたのだが、多数決には勝てない。



令和8年度 交通安全作品コンクール「あきた弁川柳」審査会委員

藤子 あられ
伊藤 主税
内田 鉄嗣
阿部 哲也
加藤 慶美

「あきたの文芸」川柳部門選考委員
一般社団法人秋田県交通安全協会専務理事
秋田県教育庁生涯学習課長
秋田県警察本部交通部交通安全企画課長
秋田県生活環境部県民生活課長